

有識者会議および経営会議における（仮称）多摩市文化芸術振興計画（素案）への主な意見と対応

1 本編

No	分類	該当箇所 前回会議素案の旧 ページ数 ／修正後素案のペ ージ数	意見の内容	対応
1	経営会議	旧 p.6 ／（削除）	「（２）策定の経緯」について、条例制定前のパルテ大規模改修に端を発した経緯と条例制定後後のビジョン検討の双方が記載されており、時系列がバラバラで読みづらい。ビジョンは後述することから、本項は削除し、条例制定の経緯は、本文章をベースにコラム等で扱った方が良いのではないか？	ご指摘の通り当該項目について削除した。また、当該内容については、序文やコラム等での活用を検討する。
2	経営会議	旧 p.7 ／（削除）	「（３）策定の方針」について、方針を踏まえて計画の検討がされ、必要事項が本編に「落とし込まれる」ものであり、当該項目は、不要ではないか。策定体制の記載も巻末資料で十分である。	ご指摘の通り当該項目について削除した。 子ども・若者に重点を置く趣旨を記載していたが、序文の要素に盛り込むこととする。
3	経営会議	旧 p.7～8 ／（削除）	「（４）文化芸術を取り巻く状況 １）社会情勢」について、いずれの表記も、施策につながる内容ではないため、不要ではないか。文化・芸術がもたらす効用が記述されている部分もあるが、冒頭の策定目的において、条例の前文を引用しているため、それで十分表現されている。	ご指摘の通り削除した。
4	経営会議	旧 p.10 ／p.3	本文における計画策定の根拠について、みんなの文化芸術条例にも基づくものの記載が、計画の位置付けに記載がない。	「（３）計画の位置付け」に追記した。
5	経営会議	旧 p.10	計画の相関関係の記載があるが、子ども・若者に関する計画が含まれて	多摩市子ども・若者・子育てプランを相関図に追加し

No	分類	該当箇所 前回会議素案の旧 ページ数 ／修正後素案のペ ージ数	意見の内容	対応
		／p.3	いない。	た。
6	経営会議	旧 p.12 ／p.5	「(2) 人口」は、「文化芸術に関する特徴」に関する記述ではないため不要だと思う。	ご指摘のとおり削除した。人口減少による地域の活力低下が懸念される中、地域コミュニティの活性化を促す文化芸術の持つ力が重要な点については、序文要素に盛り込む。
7	経営会議	旧 p.12 ／p.5	市内で活躍してきた芸術家について触れてはどうか。	「(1) まちのなりたちと、文化芸術の営み」に追記した。
8	経営会議	旧 p.12 ／p.5	市が文化施策として過去に行った取組（「TAMA うるおい美術展」等）を総括的に記すべきである。	「(1) まちのなりたちと、文化芸術の営み」に追記する形で、記載した。パルテノンオープニング時の「My Town」製作、自動演奏楽器、「TAMA うるおい美術展」、パルテノン多摩大規模改修について触れた。
9	経営会議	旧 p.14 ／p.58～60	文化財、パブリックアートや絵画などの一覧データも整理すべき	文化財およびアート一覧を資料編に整理する形とした。
10	有識者会議	旧 p.16 ／p.10	「市内の文化活動状況」について、多摩センター駅周辺には、市内唯一の映画館があるということを記載していただきたい。P18 の最初のパラグラフ中で、多摩センターイルミネーションについても触れていただきたい。	ご意見のとおり修正した。
11	有識者会議	旧 p.18 ／p.10	「市内各所における文化活動の状況」の中で、9つのコミュニティセンターがあると記載されているが、記載されていない地区名があるので、地区は網羅するべきではないか。ただし、祭礼に関しては既存の3地区だけでなく諏訪神社や白山神社などもやっているので留意した方がよい。	ご意見のとおり、網羅的な形での記載に修正した。
12	経営会議	旧 p.20	「3 多摩市文化芸術ビジョン」が、「4 現状と課題」の章立てに関して、	従来の「4 現状と課題」について、「2 本市におけ

No	分類	該当箇所 前回会議素案の旧 ページ数 ／修正後素案のペ ージ数	意見の内容	対応
		／p.18	時系列で並べているようだが、計画書としての整理としては、順番を逆にした方がよい。	「文化芸術に関する特徴」の１項目「（５）文化芸術に関する市民意識にみる現状と課題」として移項する。
13	経営会議	旧 p.23～25 ／p.13～17	「４ 現状と課題」は、「２ 本市における文化芸術に関する特徴」の１項目ではないか。	
14	有識者会議		「現状と課題」部分のアンケートの結果と結論がロジックとしてつながっていない部分について修正をすべきである。また、団体ヒアリングの箇所で、伝統文化の保存や利活用などについて「その他」という見出しになっているので、「次の世代への継承」等適切な見出しを付けるべきである	ご指摘のとおり修正を行った。
15		旧 p.23～24	アンケートの対象者を明確にした方がよいと思う。通常のアンケート結果では、回答率等記載があるので、関連の数値を明記する必要がある	ご指摘のとおり修正を行った。
16	経営会議	旧 p. 23～25 ／p.16	現状と、調査全体を通して、課題整理をし、総括して、具体の課題を記述すべきではないか。	「２ 本市における文化芸術に関する特徴の（５）文化芸術に関する市民意識にみる現状と課題のうち、「４）多摩市の文化芸術振興における課題」を新設し、主な課題を整理し、記載した。
17	有識者会議		市民が読む報告書としてポイントを分かりやすく記載した方がよい。	
18	経営会議	旧 p.26 ／p.21	計画の全体像が、「４ 現状と課題」に位置づけされているが、「施策と取組」の冒頭にある方がよいのではないか。	「４ 現状と課題」とは切り離し、あらたに「４ 計画の全体像」を「５ 施策と取組」前に新設した。
19	有識者会議	旧 p.27 ／p.26	「SDGs との関わり」については、掲載箇所、方法を検討した方がよい。	参考情報として、施策 Ｃ の空きスペースに記載をした。
20	有識者会議	旧 p.26、p.28 ～34 ／p.21～27	施策と取組について、組み換えを行った方がよい。 取り組みの見出しと内容の説明が合致していない。 策Ａと施策Ｂの内容がやや混在している気がする。各施策ＡＢＣＤで何を目指しているのかを明確にして、そのためにどう取り組むのかを整理	有識者会議での意見および有識者会議後の会長からの意見を踏まえつつ、現状の体系に整理した。

No	分類	該当箇所 前回会議素案の旧 ページ数 ／修正後素案のペ ージ数	意見の内容	対応
			すべき アートに興味がある方々に対する支援が必要なのではないか 施策 A と B をはっきりさせると良い 方向性と施策は、そもそも 1 対 1 対応が難しい。説明しすぎるのではなく抽象的な言葉でまとめた方が良い 等	
21	有識者会 議	旧 p.29 ／p.23 旧 14 ／p.7	「魅力的な文化観光資源の活用」の中にインバウンド需要が拡大しているサンリオピューロランドが入るのではないかな。 また、サンリオピューロランドについて、アウラホール等の常設で一定規模の施設は、主な文化施設等の一覧表に入れた方がよい。	個別に調整をしていない中で、固有名詞表現は控え、テーマパークという表現で、文化観光資源として含みを持たせる形の表現で、追記した。 主な文化施設や文化芸術活動が行われている施設の一覧表に追記した。
22	有識者会 議	旧 p.28～31 ／p.22	施策 A と B の取り組みをシャッフルし、花やイルミネーションなどのまちの景観についての取り組みを入れても良いのではないかな	施策 A の「まちなかで文化芸術に触れ、楽しむ機会の充実」の取組において、触れる文化芸術の中に、「まちの景観」を含めた。また、これに伴い、「計画における文化芸術の範囲」にみどりやイルミネーション等の特徴ある「まちの景観」を本市固有の文化として取り扱う旨を明記した。
23	有識者会 議	旧 p.32 ／p.25	重点取組「児童生徒に向けた芸術鑑賞および体験事業」が小学校、中学校を対象としているなら、内容としては弱いと感じる。また「乳幼児や児童生徒に向けた文化芸術の参加・発表機会の充実」については、幼稚園や保育園の記述が無い。	「児童生徒に向けた芸術鑑賞および体験事業」について、ご意見も踏まえ、教育委員会と再度調整し、記述を修正した。今回、重点取組として、評価しながら、より充実した取組としていく。 「乳幼児や児童生徒に向けた文化芸術の参加・発表機会の充実」について、幼稚園や保育園の記述を入れた。

No	分類	該当箇所 前回会議素案の旧 ページ数 ／修正後素案のペ ージ数	意見の内容	対応
24	経営会議	旧 p.36 ／p.28、p.31	施策ではなく「計画の推進に向けて」（３）中間支援機能の強化において「重点取組」が出てくることに違和感がある。次項で、あらためて重点取組項目として設定し、一定の記述をしているので、ここでは省略する等の整理をしてはどうか。	意見の通り修正した。 当該項目は削除した。ただし、「重点取組項目の設定について」で、記述を初出しすると唐突感があるため、P29「７ 計画の推進に向けて」（２）のリード文にて、中間支援機能の強化について、前振りの記載を追記した。
25	経営会議	－／p.31	「計画の推進に向けて」（３）重点取組項目の設定について５）重点取組⑤中間支援機能の強化において、財団が中間支援を担う団体なのかどうかの記載が不明確である。中間支援を担う団体の方向性を明示すべきではないか。	ご意見を踏まえ、中間支援機能の役割を強化することが期待される団体として、団体ヒアリングで中間支援機能の役割をもって活動する団体のほか、財団もその対象であることを明記しました。
26	有識者会議	旧 p.37 ／p.30-p.31	重点取組に関して、現段階で目標値を決めるのではなく、文化芸術推進委員会の中で議論して、インパクト、アウトカムに近いものを決めていくというやり方のほうが良い	ご意見を踏まえ、文化芸術推進委員会の中で議論して、決めていく形とした。
27	経営会議	旧 p.40 ／p.32	評価の軸となる指標を設定し、また進行管理をする仕組みを明記すべきではないか。	（指標について） 総合計画や世論調査結果と連動して評価する指標を設定した旨を明記した。また、「参考指標」という表記ではなく、「評価指標」と表記を変更した。 定性評価や施策ごとの指標や、重点取組の評価指標については、来年度の庁内委員会、文化芸術推進委員会において協議しつつ、整理していく。
28				（仕組みについて） 「（６）計画の推進状況の点検・評価」を追記した。仕組み（庁内委員会での内部評価⇒外部評価⇒事業の継続・拡充・見直し）を明記した。PDCA＊サイクルに

No	分類	該当箇所 前回会議素案の旧 ページ数 ／修正後素案のペ ージ数	意見の内容	対応
				基づく計画推進のイメージを記載した。